

## 会社概要

2025年4月1日現在

商号	(邦名) 株式会社東京ドームホテル (英文名) TOKYO DOME HOTEL CORPORATION
設立年月日	1999年2月1日
決算日	3月末日
発行する株式総数	30,800 株
発行済株式総数	2,000 株
資本金	払込資本金 1億円
所在地	〒112-8562 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-5805-2111 <代表>
FAX	03-5805-2200 <代表>
出資者	株式会社 東京ドーム (発行済株式総数に対する割合100%)
代表者	代表取締役社長 執行役員 棟方 史幸
事業目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・国内外旅客の宿泊、貸席および宴会</li><li>・料飲施設の経営および食品の製造および販売</li><li>・煙草、酒類、雑貨、新聞、雑誌、医療品および書籍の販売</li><li>・不動産の売買および賃貸借</li><li>・スポーツ施設およびライブハウス、娯楽施設の経営</li><li>・旅行代理店の経営</li><li>・各種チケットの販売</li><li>・ホテルおよび料飲施設の経営受託および技術指導</li><li>・両替業務</li><li>・有価証券の保有および管理</li><li>・その他前各号に付帯または関連する一切の事業</li></ul>
従業員数	465名(男性263名・女性202名) ※2025年4月1日現在

## TOKYO DOME HOTEL

### SUSTAINABILITY REPORT

2024



## 持続可能な観光に資するために

東京ドームホテルは2000年に開業いたしました。

東京ドームに隣接し、都心最大級のエンターテインメントエリアである東京ドームシティ内に位置することから、開業当初より「楽しさ度ランキングNo.1ホテル」をビジョンとし、お客様の“楽しさ”だけではなく働く従業員もそれぞれの“楽しさ”を日々感じながら生き生きとしたサービスを提供してまいりました。

近年サステナビリティの観点においては、喫緊の課題である気候変動への取り組みが大きく加速した一方で、人権問題がより顕在化するなど、企業活動においても経済価値に加えて環境価値や社会価値がより重要視されるようになりました。

このような環境下で「持続可能な観光」の一翼を担うホテル業を生業としている私どもは、「将来世代のニーズを損なわずに現役世代のニーズを満たす商品開発」が求められ、社会の課題解決を常に意識しながら中長期的に遂行していく必要があります。

東京ドームホテルでは重点課題を定め、一人ひとりが自分事として意識できる“人起点”にて一歩一歩進めてまいります。

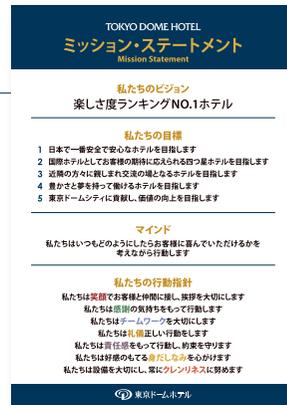


代表取締役社長  
棟方 史幸

## お客様に届けたい価値 「楽しさ度ランキングNo.1ホテル」

東京ドームホテルが目指すのは  
“楽しさ度ランキングNo.1ホテル”。

それは「今までにない新しいホテル文化を創造し、東京ドームホテルにいらっしやるすべてのお客様の“楽しさ”を共に実現させたい」という夢が根底にあります。お客様の数だけ“楽しさ”の表現方法があり、その可能性は無限です。

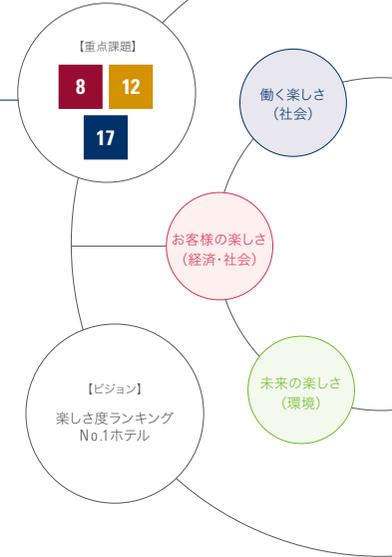


## 重点課題と3つの楽しさ

東京ドームホテルでは、事業と関わりの深いゴールを「重点課題」として設定。更にわたしたちのビジョンである“楽しさ度ランキングNo.1ホテル”に繋がる全てのステークホルダーの“楽しさ”の実現を目指して、取り組んでまいります。

### 重点課題

チェーンマッピングにより各ゴールとホテルとの関わりを認識し、より関係の深い3つのゴールを重点課題として設定いたしました。「人」に重点を置きながら課題の解決に取り組んでまいります。



8.4 8.5 8.9

働きやすく、やりがいをもって働ける環境づくりを行うと共に、経済成長と環境保護の両立を目指し、持続可能な観光業の推進に貢献いたします。



12.3 12.4 12.5 12.6

食品ロス削減への取り組みをはじめとする3Rの意識醸成、そしてゴミの分別を見直し、徹底することにより、廃棄物の削減に貢献いたします。



17.17

文京区のランドマークとしてすべてのステークホルダーとのパートナーシップのもと目標達成を目指してまいります。



## 働きがいも経済成長も

すべての従業員がもてる能力を十分に発揮し、やりがいをもって働けるとともに、仕事と育児・介護といった生活スタイルを両立させることができ、ワーク・ライフ・バランスを保てる環境づくりに取り組んでおります。更に、経済成長と環境保護の両立を目指し、持続可能な観光業の推進にも貢献いたします。

### 第3回SDGs AWARD開催



SDGsを日々の業務と紐づけることで、全社をあげた積極的なSDGs推進を目指して始まった「SDGs AWARD」も3回目を迎え、2024年度もたくさんのサステナブルな取り組みの中から、その貢献度に合わせて5つの賞が贈られました。

### 若手社員向け表彰制度「新米大作戦」

入社1～2年目社員の日頃の頑張りを身近な先輩社員が評価する制度である「新米大作戦」が2024年度も開催されました。先輩社員から投稿されたエピソードの数は1年間で55件にもおよび、厳正な審査の結果、今年度は8名の若手社員が表彰されました。



### 社内コンクール開催

主任層以上の社員を対象に社内料理コンクールが開催され、9名の社員がエントリーし、各自が持てるアイデアとスキルを競い合いました。名誉総料理長をはじめとする審査員による総合審査に加え、全社員が対象の写真審査も導入され、会社をあげた盛り上がりを見せておりました。一方料飲サービスコンクールでは、入社2年目の若手社員7名が、指定の課題に対して2か月にも及ぶトレーニングを積み、その成果を存分に披露いたしました。接客技術の習得やモチベーションの向上はもちろんのこと、接客技術を学び合う風土の醸成や、コンクールのトレーニングを通じてチームワークの強化を図ることを目的としており、その達成を十分に感じることでできる実りの多いコンクールとなりました。



### 東京ドームシティ・ロールプレイングコンテスト入賞



東京ドームシティ接客満足度 No.1 施設を決める「接客ロールプレイングコンテスト大会」が開催され、東京ドームホテルからはレストラン店舗の社員がエントリー。120名もの予選大会参加者の中から決勝大会出場者21名に選出され、決勝大会では見事入賞を果たしました。

### ネクストリーダーズに出場

ホテル、旅館、ブライダル、観光関連の次世代リーダー育成プログラムに当社より3名の社員が参加。他施設の参加者と共に編成されたチームで数か月に渡る準備期間を経て、一般社団法人日本能率協会が主催する「第1回ネクストリーダーズ」東京ラウンドに出場し、うち1名が所属するチームは【準優秀賞】に輝きました。



### 第12回全国B.M.C.若手コンペティション東京最終予選・最優秀賞受賞



全国B.M.C.若手コンペティション東京最終予選がザ・プリンス パークタワー東京にて開催され、当社からは宴会サービス課に所属する2名の新入社員が出場。うち1名が見事最優秀賞を受賞いたしました。「今こそホテルウエディング」をテーマに、6分の持ち時間を使ってとびきりの笑顔で元気に発表を行い、会場を沸かせました。

### 工場やワイナリーの見学・視察実施

お客様へ提供する飲食材の知識取得と生産活動への理解を深め、適正な取り扱い方法を学ぶことを目的に、キーコーヒー関東工場、山梨県の登美の丘ワイナリー(サントリー株式会社)、「気仙沼市魚市場」と「株式会社中華・高橋」の加工場へ伺い、見学・視察を実施いたしました。



### ファミリーパーティー開催



社員同士のコミュニケーション活性化および働き甲斐の向上を目的に、社員とその家族を対象としたファミリーパーティーを開催いたしました。当日は350名を超える参加者が集まり、ホテルメイドの美味しい料理に舌鼓を打ちながら、緑日コーナーやじゃんけん大会など様々な催し物を共に楽しみ、交流を図りました。



事業活動で発生する環境負荷の低減に向けた取り組みに力を入れております。特に、食品ロス削減をはじめとする3Rの意識醸成に着目し、食品・燃えるゴミ・燃えないゴミの廃棄量を計測し、そのデータを活用して廃棄量削減計画の策定を目指しているほか、館内で使用するアイテムはできる限り環境対応型素材を使用したものを選定しております。

### 夏休みお子様向けイベント



夏休み期間中に小学生とご家族を対象に毎年開催している「テーブルマナー教室」において、2024年度はその開催テーマを“食品ロス削減”に設定。普段は廃棄しがちな食品の端材をホテルシェフならではの方法で有効活用したメニューを提供したり、ご家庭でも簡単にチャレンジできるアレンジ方法をシェフ自ら伝授したりと、食品ロス削減について多くの学びを提供いたしました。会場内にはSDGsブースも設置し、親子で環境問題について考える機会の創出にも貢献いたしました。

### 「幸せリレー」

当ホテルにて挙式や結婚披露宴を行ったお客様より、ウェルカムボードや装飾品などを寄贈していただき、次のカップルに繋ぐリサイクルを始めました。寄贈いただいたアイテムはメッセージと共にウェディングサロンに展示し、同じ会場で挙式・結婚披露宴をされる次のお客様へとバトンをつなぎます。“リサイクル”や“廃棄削減”という直接的な言葉を使わずに、ポジティブに環境貢献活動が出来ていることや、お客様からのリアクションが想定以上に良いことから、ウェディングプランナーのモチベーション向上にも寄与する新しい取り組みとして、社内でも注目されております。



### 食品ロス削減に向けた各種取り組み

宴会場で提供されるbuffet料理の廃棄量をデータ化する取り組みを開始。ロス削減に向けた方針策定に活用する予定です。さらにお客様にも食べきりへのご協力をお願いする「3010運動」の積極的な推進も図っております。また、従来廃棄しがちであった食品の端材を他のメニューで活用する取り組みも加速し、レストラン店舗でも食品ロスを減らす工夫が浸透しております。

### 廃棄物計量システム

ホテル館内で廃棄されるゴミの量を把握し、削減に向けた方針を策定するために2022年度より始まった廃棄物計量システムの見直しを実施。アルバイトスタッフや協力会社のスタッフも多い環境下で、より全社にその仕組みを浸透させるべく、廃棄するゴミの項目を簡素化したり、計測した数値を登録する仕組みを分かり易くしたりするなどしたことで、従業員の誰もが抵抗なく計測と登録ができるようになり、より多くのデータを収集するためのオペレーション構築が実現いたしました。

### プラスチック使用量の削減

クリーニング済みの従業員ユニフォームにかけていたビニールカバーの一部を廃止。また、お客様に提供しているカトラリーやマドラーなどの一部を、プラスチックからバイオマスや木製に切り替えることで、プラスチック使用量の削減に貢献いたしました。

### 竹天削箸の採用

一部のレストラン店舗で使用している箸の素材をアスペンから竹に変更。アスペンよりも成長が早く、伐採しても再生が早いとされる竹を選択することで、環境負荷の低減に貢献いたしました。



### 従業員食堂の家具更新

従業員食堂で使用している椅子とテーブルの入替工事において、ISO14001・森林認証(FSC)取得の国内生産家具を採用いたしました。

### 生ごみのエネルギー化

ホテル館内で発生した生ごみは協力会社のプラントに運ばれ、メタン発酵技術によりバイオガス化を行い、電気・都市ガスとして再利用されております。

### TOKYO CORK PROJECT

コルクは樹木を伐採せず樹皮を剥いて生産され、断熱性や吸音性など様々な機能特性を持つ優れた天然素材ですが、海外の限られた地域でしか生育することができません。「TOKYO CORK PROJECT」は、国内で捨てられる使用済みコルク栓を回収、再生加工し、活用する事業に取り組んでおり、その理念に当社も賛同し、2024年度は18kgのコルク栓を回収いたしました。



文京区のランドマークとして、すべてのステークホルダーとのパートナーシップのもと目標達成を目指しております。ホテルを利用されるお客様はもちろんのこと、文京区民や近隣の学校に通う学生、更にはホテル従業員の家族などにも向けて、共に目標達成を実現すべくさまざまな機会の醸成に努めております。

### 文京区中高生専用施設

#### 「文京区青少年プラザb-lab」

##### との連携

地域連携の取り組みの一環として、「文京区青少年プラザb-lab」を利用する中高生向けのワークショップを開催。ホテル業界における食品ロス問題について学生と意見交換を行ったり、ホテル館内の見学ツアーを実施しホテル業界の魅力について知っていただいたりする機会となりました。



### ハピベジ食育講座での講演

文京区が区民の野菜摂取量向上を目的に開催した「ハピベジ食育講座」にて、当ホテルの和食料理長が講師を担当。ホテルシェフによる「おうち和食」をテーマに、想定を上回る応募数の中から抽選で選ばれた文京区民を対象に、ご家庭でも実践できる野菜を使った和食の料理テクニックについて講演を行いました。



### おにぎりアクション

TABLE FOR TWO internationalが主催する「おにぎりアクション」の一環として、東京ドームシティで開催されたイベントに東京ドームホテルも協力し、本取り組みの認知拡大に向けた活動を行いました。「おにぎりアクション」とは、おにぎりの写真を撮影し、ハッシュタグをつけて特設サイトやSNSに投稿するだけで、アフリカやアジアの貧困地域の子どもたちに給食を贈ることができる取り組みで、イベントに会場されたお客様に本取り組みへの参加を呼びかけたほか、ホテルの従業員向けにもPRを行い、期間中には従業員食堂でおにぎりを主食とするメニュー提供を行いました。



### おにぎりねぶたの展示

都立工芸高校定時制ねぶた造形研究部のご協力のもと制作された、おにぎりモチーフとしたねぶたをホテルのメインロビーに展示いたしました。TABLE FOR TWO internationalが主催する「おにぎりアクション」との連動企画で、世界における食の不均衡解消を目指す目的で実施され、多くのお客様が足を止めてその迫力に驚かれていました。



### 「書」を楽しむワークショップ



伝統的な書の道具や材料の紹介を交えながら、「墨すり体験」を通して「お習字」とは違う自由な表現の書を体験できるワークショップと作品展を、当社の社員とその家族を対象に実施。一般社団法人日本美術文化協会理事・春陽Shun-Yoご協力のもと、日本の伝統文化である書の伝承と教育を目的に、未就学児でも気負わず楽しんで参加できる貴重な機会として喜ばれました。

伝統的な書の道具や材料の紹介を交えながら、「墨すり体験」を通して「お習字」とは違う自由な表現の書を体験できるワークショップと作品展を、当社の社員とその家族を対象に実施。一般社団法人日本美術文化協会理事・春陽Shun-Yoご協力のもと、日本の伝統文化である書の伝承と教育を目的に、未就学児でも気負わず楽しんで参加できる貴重な機会として喜ばれました。

### 文京区子ども宅食プロジェクトへの備蓄食の寄付

備蓄食のローリングストックにより「10年保存クッキー」と「ポトルドウォーター」を文京区子ども宅食へ寄付いたしました。災害に対する備えとして、また、備蓄食を味見しながら親子で防災について話し合う機会として、ご活用いただきました。また、文京区民センターにて開催された「子ども宅食事業報告会」では、成澤廣修文京区長より感謝状をいただきました。



### くらしのサス活

三井不動産レジデンシャル株式会社による、日々のくらしを豊かに、楽しみながら、持続的に脱炭素活動が行える「くらしのサス活」。賛同パートナー企業として2023年8月より参画し、ホテルでの宿泊で生じるCO2排出相当量をオフセットする宿泊プランを本年度も提供いたしました。



### フラワーロスプロジェクト

市内の高校生が主体となって進める「フラワーロスプロジェクト」に賛同し、宴会場での展示後、廃棄されてしまう花を提供。「フラワーロス」という社会問題に対する意識を高めることを目的に、綺麗なまま廃棄されてしまう花に新たな命を吹き込むキャンドル作りのワークショップで活用していただきました。



### さまざまな社会貢献

当ホテルの従業員食堂で対象となるメニューを購入すると、代金の一部が寄付金となって、TABLE FOR TWO internationalを通じて開発途上国の子どもたちの学校給食になる「TABLE FOR TWOプログラム」と、社内で集めたペットボトルキャップをリサイクル事業者へ売却し「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて開発途上国の子どもたちにワクチンを届ける活動に、当ホテルは2021年度より継続して参画しております。2024年度の学校給食寄付相当食数は1621食、ワクチン寄付相当本数は55.5本分にもなっております。

